2023年 枇杷栽培管理指針

●業務部経済課 TEL(0846)45-3360
●安浦支所経済 TEL(0823)84-2049
●営農センター TEL(0846)46-1017
●川尻支所経済 TEL(0823)87-2931

発行
芸南農業協同組合
全国農業協同組合連合会 広島県本部
広島県果実農業協同組合連合会

月	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
地上部生育	開花結実期						果実肥大期									収穫期			生理的花芽の分化			形態的花芽の分化（花器発育期）									開花期					
地下部生育							春根発生	春根								夏根発生	夏根								秋根発生	秋根										
主な管理作業	◉土作り（有機物の投入）			◉酸性土壌の改善（マリンカル一〇〇キロ）			◉春肥の施用 ◉剪定の実施（整枝） ◉接木	◉苗木の植付（主幹は切り返さず葉先を1/2切って植付け、潅水を充分に行い支柱を立てる）		◉芽かぎ（腋芽の除去） ◉摘果（一果房一～二果とする） ◉袋かけ（十日頃より開始）			◉除草・敷草	◉潅水（5月中～下旬にかけて無降雨状態の時は果実の肥大促進を目的に潅水を行う）		◉収穫・出荷	●夏肥の施用		◉除草 ◉剪定の実施			◉芽かぎ（樹勢が強い場合は2本、弱い場合は1本とする）			◉副梢の整理・剪定 ◉中耕・除草 ●秋肥の施用			●花肥の施用			◉摘房・摘蕾			◉中耕・敷ワラ・敷草		
病虫害防除・施肥基準																															◉灰斑病（十二月中下旬 トップジンM水和剤 一〇〇〇倍）					
																															◉越冬病害虫（ハダニ・サビダニ 石灰硫黄合剤 一〇〇倍）					
																									◉カイガラムシ類 ◉アブラムシ類（八月下旬 アタックオイル モスピラン顆粒水溶剤(劇) 一〇〇倍 一、〇〇〇倍）			◉がんしゅ病（七月下旬 コサイド3000 一、〇〇〇倍）											
																			◉アブラムシ類（カミキリムシ等発生期 七月中旬～六月下旬 モスピラン顆粒水溶剤(劇)（採収後） 二、〇〇〇倍）																	
							◉灰斑病 ◉アブラムシ類（ケムシ等発生期 四月中旬～三月下旬（袋掛け前） ベンレート水和剤 オリオン水和剤40(劇) 二、〇〇〇倍 一、〇〇〇倍 混用散布）																													
	◉灰色かび病 ◉灰斑病 ◉たてぼや病（二月上旬～二月下旬 ジマンダイセン水和剤 ベルクート水和剤 六〇〇倍 一、〇〇〇倍 混用散布）																																			

施肥基準（10アール当り）

区分	施肥時期	使用肥料銘柄	施用量	N	P	K
春肥	2月中～下旬	元気866 ブロウ	100kg 20kg	8.0	12.2	6.0
夏肥	6月下旬～7月上旬（収穫直後）	園芸用有機化成（特A805号）	60kg	6.0	3.6	4.2
秋肥	9月下旬～10月上旬	元気866	120kg	9.6	7.2	7.2
寒肥	9月中～下旬	硫酸カリ	10kg			5.0
花肥	10月中～下旬	ブロウ	40kg		8.0	
年間合計				23.6	31.0	22.4

土壌改良資材施用基準（10a当り）

施用時期	資材名	施用量
1月	ようりん	40kg
1月～2月	マリンカル	100kg
6月上旬～中旬	水マグ	40kg
7月上旬～中旬	豊穣堆肥	1～2トン

※必ず、生産工程管理日誌を提出しましょう。

◎防除暦に記載されている農薬以外は使用しないようにしましょう。 ◎農薬の安全使用基準を厳守しましょう。 ◎使用農薬・散布日を必ず記録しましょう。 ◎他の作物にかからないよう散布しましょう。 ◎農薬は専用保管庫に入れて管理しましょう。（詳細は農協又は技術員へお問い合わせください）